
伊勢崎佐波地区 景気動向調査

No.62 2018.7~9月期

Contents

- 概況 悪化の判断に転じた前期から今期はやや持ち直し
来期も緩やかな改善を予想
- 特別調査 中小企業経営者と「人生100年時代」



伊勢崎商工会議所



アイオーしんきん

調査方法について

伊勢崎商工会議所とアイオー信用金庫が共同し、伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の企業386社にご協力いただき、面談または聴取りによる調査の回答を集計したものです。

製造業、卸売業、小売業、建設業、サービス業の5つの業種について3か月ごとに景気の動きを調査し、最新の動きをまとめております。

独立行政法人中小企業基盤整備機構並びに日本商工会議所の実施する全国規模の調査結果を一部引用しております。また、毎回テーマを設け「特別調査」を実施しております。

今回の調査について

調査時期	2018年9月
調査内容	① 今期の状況：前年の同時期（2017年7月～9月）と比較した今期（2018年7月～9月）の状況及び前期（2018年4月～6月）と比較した今期の状況。 ② 来期の見通し：前年の同時期（2017年10～12月）と比較した来期（2018年10月～12月）の見通し。
調査方法	伊勢崎商工会議所及びアイオー信用金庫の調査員による面談または聴取り調査
調査対象企業数	伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の企業 386社
回答企業数	356社
回答企業業種別内訳	下表のとおり

業種	回答企業数	調査対象企業数	回答率
製造業	106	117	90.5%
卸売業	25	29	86.2%
小売業	90	93	96.7%
建設業	57	61	93.4%
サービス業	78	86	90.6%
合計	356	386	92.2%

調査結果の分析について

調査結果の分析には、判断指数（Diffusion Index-D.I.）を用いております。この判断指数（D.I.）とは、「良い」とする回答数から「悪い」とする回答数を引き、全体に占める割合を算出したもので、この指数の変動により、景気の動いている方向を判断するために用いられます。

1. 業況

























悪化の判断に転じた前期から今期はやや持ち直し 来期も緩やかな改善を予想

今期（2018.7～9）の企業の景況感を示す全業種の業況判断 D.I.は、 $\Delta 10.4$ と前期（2018.4～6： $\Delta 10.6$ ）との比較で 0.2 ポイント改善と、前期の悪化からやや持ち直しの動きが見られました。業種別の業況判断 D.I.では、小売業が3期連続の悪化となった一方で、その他の業種で横這いまたは改善の結果となりました。

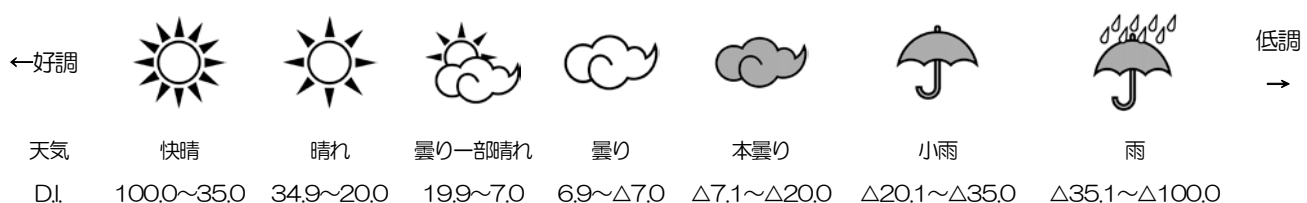
独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施し、日本商工会議所他 2 団体が実査した全国調査（以後「全国調査」という。）との比較では、全業種の業況判断 D.I.は全国調査を 8.1 ポイント上回っているほか、業種別の業況判断でも全ての業種で全国調査を上回る結果となっています。

来期（2018.10～12）の業況判断 D.I.の見通しは、 $\Delta 6.2$ と依然としてマイナス判断が続くものの、今期（2018.7～9： $\Delta 10.4$ ）との比較で 4.2 ポイント改善するとしています。業種別では卸売業以外の業種で横這いまたは改善を予想しているほか、項目別でも売上、採算、従業員増減など全ての判断 D.I.で改善するとしています。

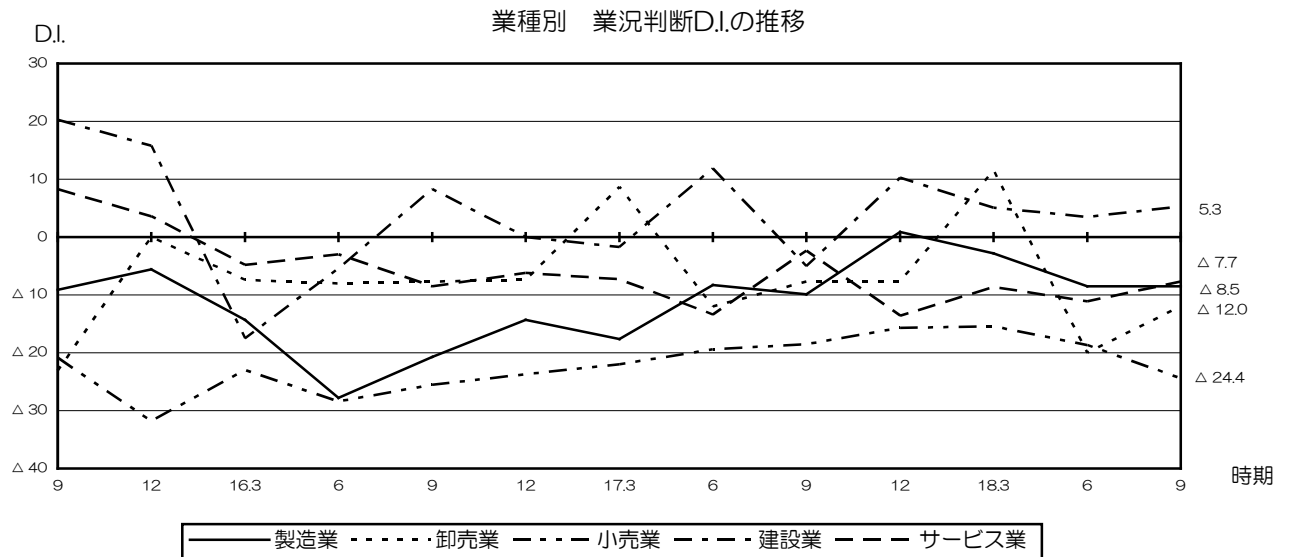
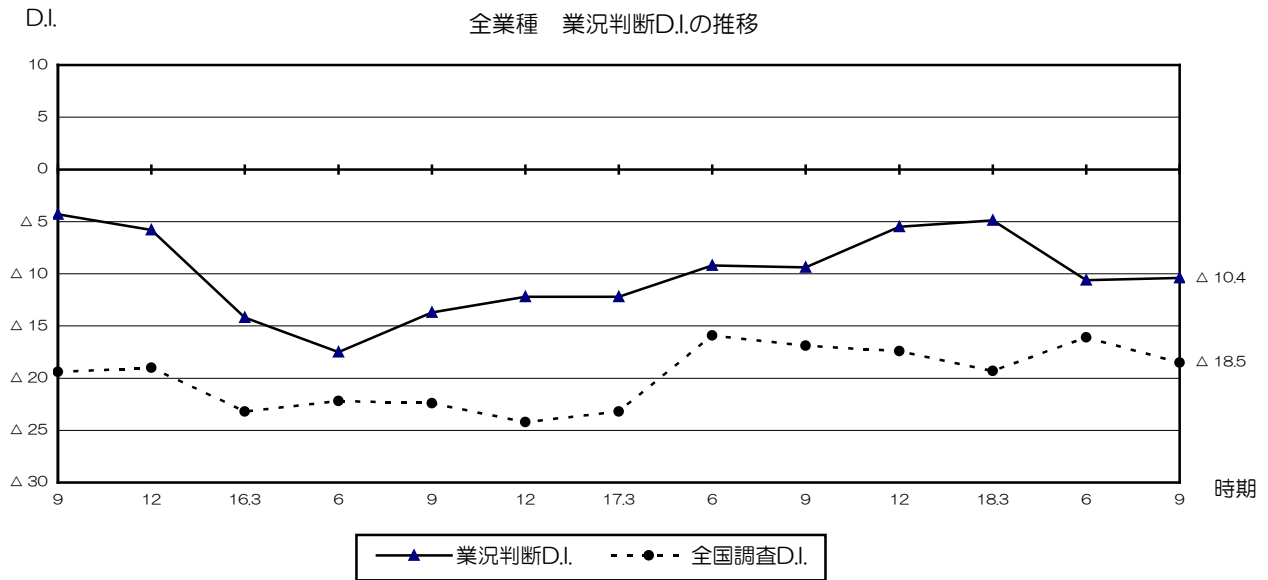
業 種 別 天 気 図

	前 期 2018.4～6月	今 期 2018.7～9月	全 国 調 査 2018.7～9月	来 期 見 通 し 2018.10～12月
全 業 種				
製 造 業				
卸 売 業				
小 売 業				
建 設 業				
サ ー ビ ス 業				

（この天気図は、景気指標を総合的に判断し作成したものです。また、全国調査は日本商工会議所の調査によるものです。）



2. 業況判断D.I.の推移



(対前年同期比判断D.I.)

	前 期 2018.4~6	今 期 2018.7~9	来 期 見 通 し 2018.10~12	全 国 調 査 2018.7~9
全 業 種	Δ10.6	Δ10.4	Δ6.2	Δ18.5
製 造 業	Δ8.5	Δ8.5	Δ1.9	Δ13.4
卸 売 業	Δ20.0	Δ12.0	Δ20.0	Δ14.7
小 売 業	Δ18.7	Δ24.4	Δ20.0	Δ31.4
建 設 業	3.5	5.3	15.8	Δ7.9
サ ー ビ ス 業	Δ11.1	Δ7.7	Δ7.7	Δ17.7

(全国調査は日本商工会議所の調査によるものです。)

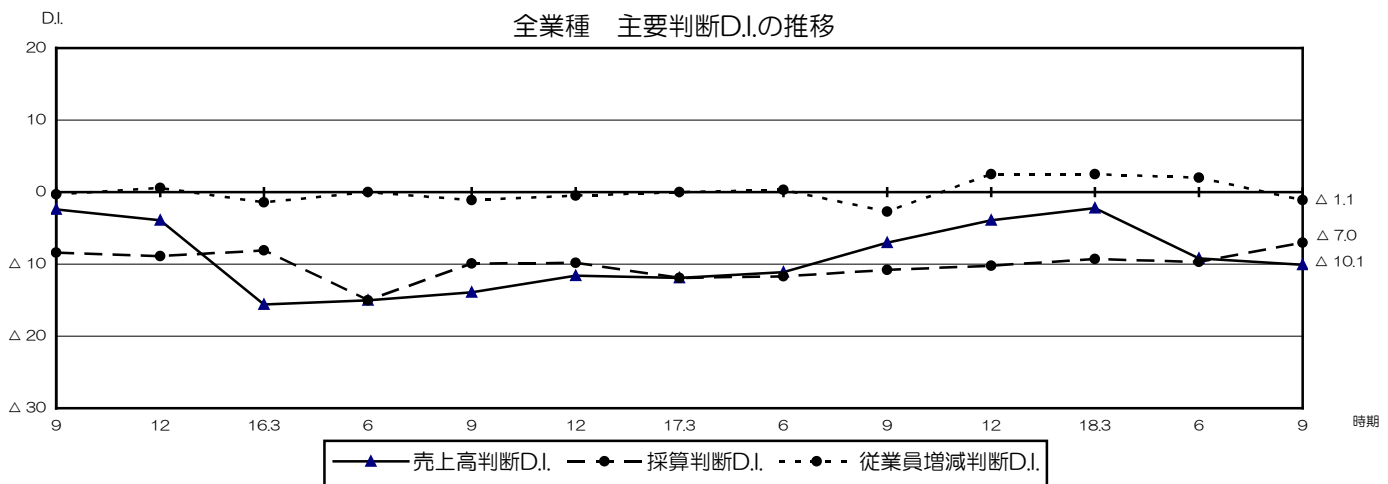
3. 売上高、採算、従業員増減の状況

(対前年同期比判断D.I.)

今期(2018.7~9)の売上高判断D.I.は $\Delta 10.1$ と、前期(2018.4~6)との比較で0.9ポイント悪化しています。また、採算判断D.I.では2.7ポイント改善しましたが、従業員増減判断D.I.は3.1ポイント悪化しています。

	前 期	今 期	来期見通し
売上高	$\Delta 9.2$	$\Delta 10.1$	$\Delta 6.5$
採 算	$\Delta 9.7$	$\Delta 7.0$	$\Delta 10.7$
従業員増減	2.0	$\Delta 1.1$	2.0

来期(2018.10~12)の売上高判断D.I.は $\Delta 6.5$ と、今期(2018.7~9)との比較で3.6ポイント改善すると見通しているほか、従業員増減判断D.I.でも3.1ポイント改善を予想している一方で、採算判断D.I.は3.7ポイント悪化するとしています。



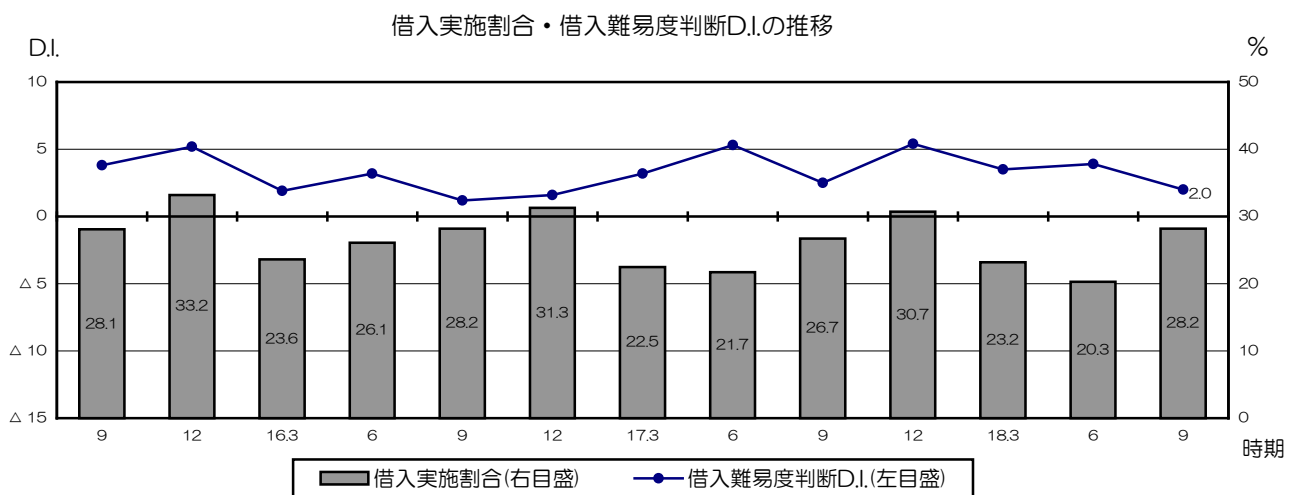
4. 借入金の状況

今期(2018.7~9)借入を実施した企業の割合は28.2%と、前期(2018.4~6)との比較で7.9ポイント増加しました。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	20.3%	28.2%	23.0%
借入難易度判断D.I.	3.9	2.0	

来期(2018.10~12)借入を予定する企業の割合は23.0%と、今期(2018.7~9)との比較で5.2ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断D.I.は今期(2018.7~9)2.0と、前期(2018.4~6)との比較で1.9ポイント悪化しています。



1. 業況

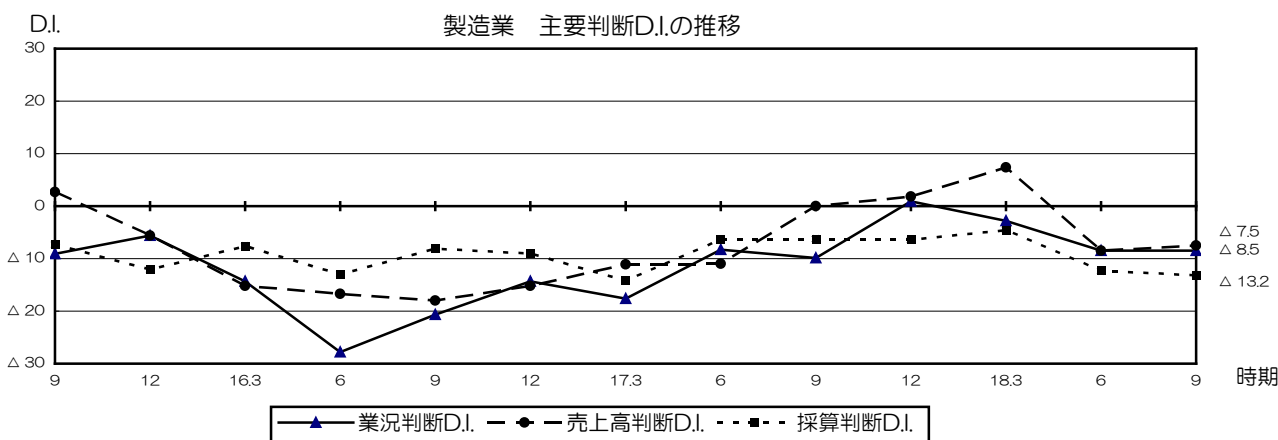
今期 (2018.7~9) の業況判断 D.I.は $\Delta 8.5$ と、前期 (2018.4~6) との比較で変化は見られません。売上、資金繰りは改善しているものの、その他の項目では前期を下回っています。

全国調査との比較では、業況判断 D.I.で全国調査の $\Delta 13.4$ を 4.9 ポイント上回っているほか、原材料仕入単価、原材料在庫、設備操業率を除く項目で、全国調査の判断 D.I.を上回る結果となりました。

来期 (2018.10~12) の業況判断 D.I.は $\Delta 1.9$ と、今期 (2018.7~9) との比較で 6.6 ポイントの改善を予想しているほか、資金繰り、原材料仕入単価以外の項目で今期を上回ると予想しています。

(対前年同期比判断 D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	$\Delta 8.5$	$\Delta 8.5$	$\Delta 1.9$	$\Delta 13.4$
売上(加工)高	$\Delta 8.5$	$\Delta 7.5$	$\Delta 5.7$	$\Delta 11.8$
資金繰り	$\Delta 9.4$	$\Delta 4.7$	$\Delta 5.7$	$\Delta 9.9$
採 算	$\Delta 12.3$	$\Delta 13.2$	$\Delta 5.7$	$\Delta 17.1$
原材料仕入単価	30.2	23.6	17.0	48.2
原材料在庫	$\Delta 1.9$	$\Delta 2.8$	$\Delta 1.9$	$\Delta 3.6$
従業員増減	8.5	4.7	7.5	$\Delta 1.8$
設備操業率	$\Delta 7.5$	$\Delta 8.5$	$\Delta 5.7$	$\Delta 6.7$



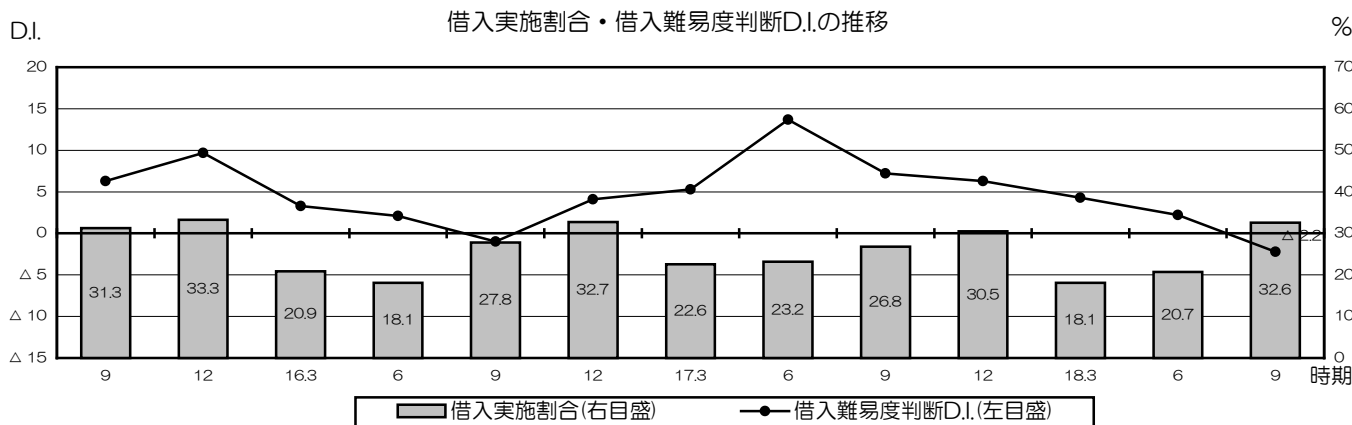
2. 借入金の状況

今期 (2018.7~9) 借入を実施した企業の割合は 32.6%と、前期 (2018.4~6) との比較で 11.9 ポイント増加しました。

来期 (2018.10~12) 借入を予定する企業の割合は 17.4%と、今期 (2018.7~9) と比較して 15.2 ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断 D.I.は今期 (2018.7~9) $\Delta 2.2$ と、前期 (2018.4~6) との比較では 4.4 ポイント悪化しています。

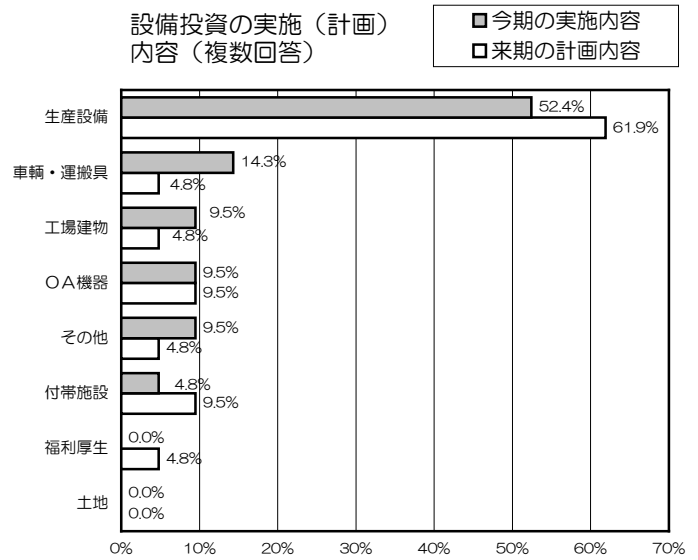
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	20.7%	32.6%	17.4%
借入難易度判断 D.I.	2.2	$\Delta 2.2$	



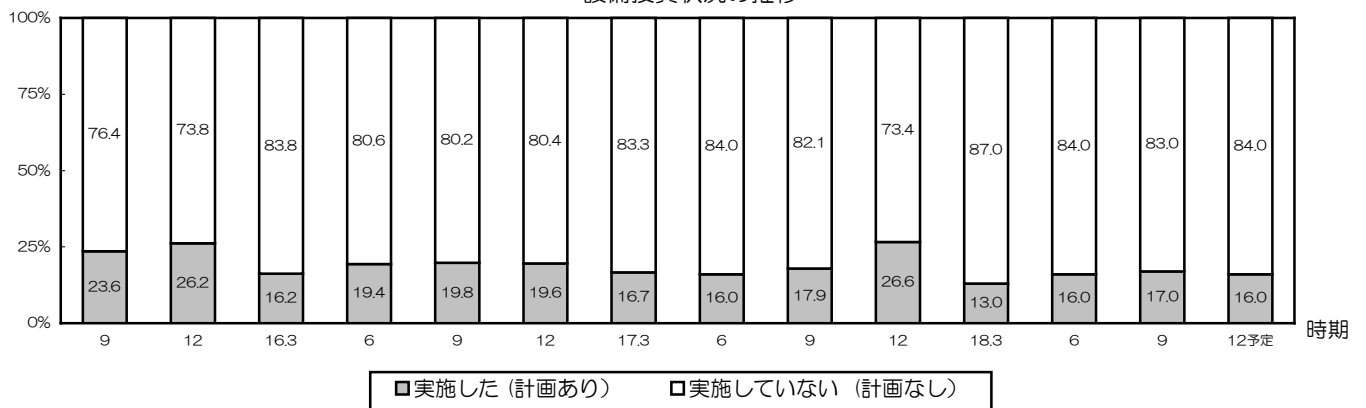
3. 設備投資の状況

今期（2018.7～9）設備投資を実施した企業の割合は17.0%と、前期（2018.4～6：16.0%）との比較で1.0ポイント増加しました。設備投資の内訳は、生産設備が52.4%、車輛・運搬具が14.3%、工場建物、OA機器、その他が各々9.5%、付帯施設が4.8%でした。

来期（2018.10～12）設備投資を計画する企業の割合は16.0%と、今期（2018.4～6）と比較して1.0ポイント減少する見込みです。設備投資の内訳は、生産設備が61.9%、OA機器、付帯施設が各々9.5%、車輛・運搬具、工場建物、福利厚生、その他が各々4.8%となっています。



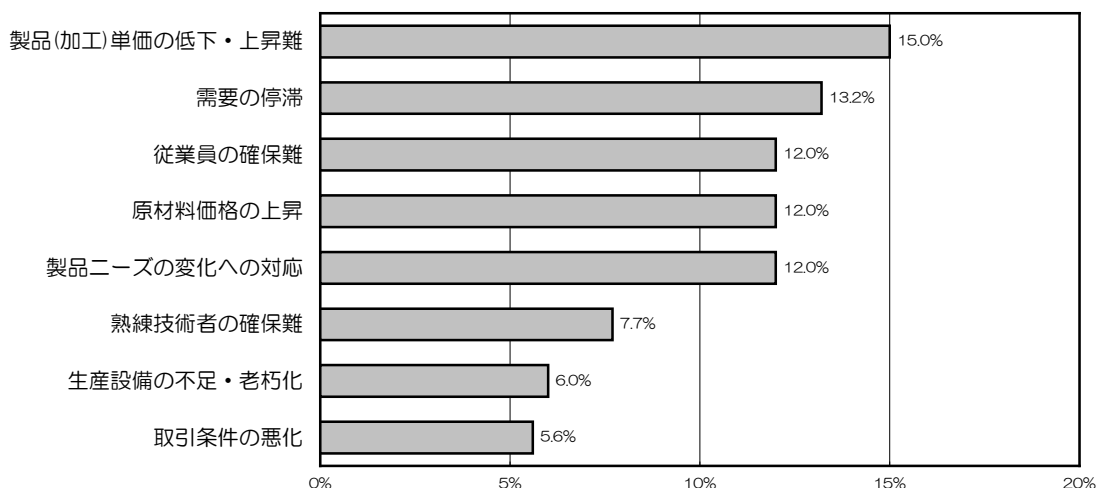
設備投資状況の推移



4. 経営上の問題点

主な経営上の問題点は、第1位が「製品（加工）単価の低下・上昇難」で15.0%、第2位が「需要の停滞」で13.2%、第3位が「従業員の確保難」「原材料価格の上昇」「製品ニーズの変化への対応」で各々12.0%、第4位が「熟練技術者の確保難」で7.7%、第5位が「生産設備の不足・老朽化」で6.0%、第6位が「取引条件の悪化」で5.6%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



1. 業況

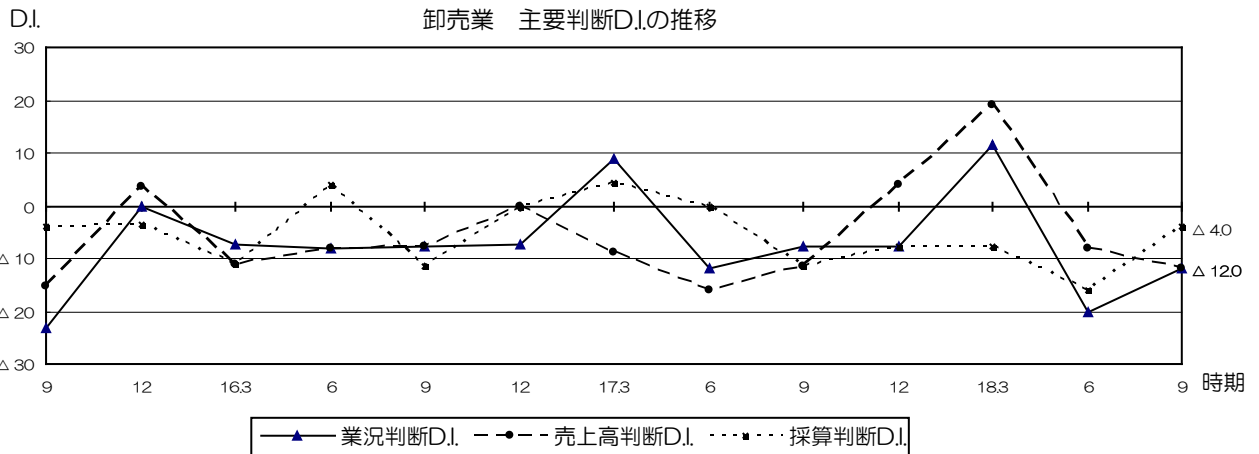
今期(2018.7~9)の業況判断 D.I.は $\Delta 12.0$ と、前期(2018.4~6)との比較で 8.0 ポイント改善したほか、売上高、従業員増減、在庫数量を除く項目で前期を上回っています。

全国調査との比較では、業況判断 D.I.で全国調査の $\Delta 14.7$ を 2.7 ポイント上回っているほか、仕入単価以外の項目では全国調査の判断 D.I.を上回る結果となりました。

来期(2018.10~12)の業況判断 D.I.は $\Delta 20.0$ と 8.0 ポイントの悪化が予想されるほか、採算、売上単価、仕入単価、在庫数量でも今期を下回ると予想しています。

(対前年同期比判断 D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	$\Delta 20.0$	$\Delta 12.0$	$\Delta 20.0$	$\Delta 14.7$
売 上 高	$\Delta 8.0$	$\Delta 12.0$	$\Delta 8.0$	$\Delta 14.1$
資 金 繰 り	$\Delta 16.0$	$\Delta 4.0$	$\Delta 3.8$	$\Delta 7.5$
採 算	$\Delta 16.0$	$\Delta 4.0$	$\Delta 12.0$	$\Delta 19.2$
売 上 単 価	4.0	16.0	8.0	10.9
仕 入 単 価	16.0	20.0	16.0	40.7
在 庫 数 量	0.0	0.0	$\Delta 4.0$	$\Delta 10.5$
従 業 員 増 減	4.0	0.0	0.0	$\Delta 0.3$



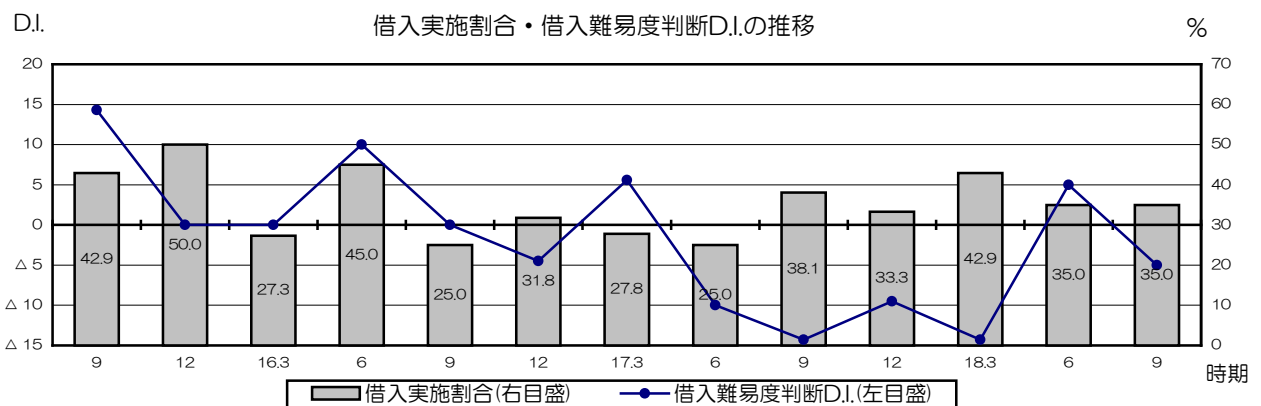
2. 借入金の状況

今期(2018.7~9)借入を実施した企業の割合は 35.0%と、前期(2018.4~6)との比較で変化はありません。

来期(2018.10~12)借入を予定する企業の割合は 30.0%と、今期(2018.7~9)と比較して 5.0 ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断 D.I.は今期(2018.7~9) $\Delta 5.0$ と、前期(2018.4~6)との比較では 10.0 ポイント悪化しています。

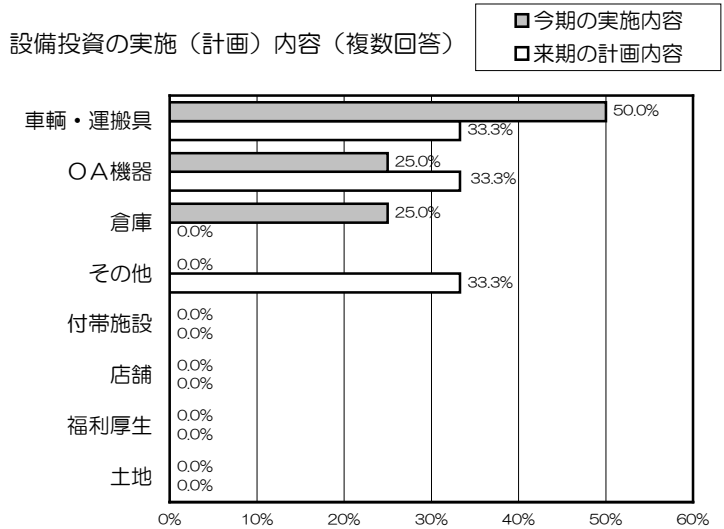
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	35.0%	35.0%	30.0%
借入難易度判断 D.I.	5.0	$\Delta 5.0$	



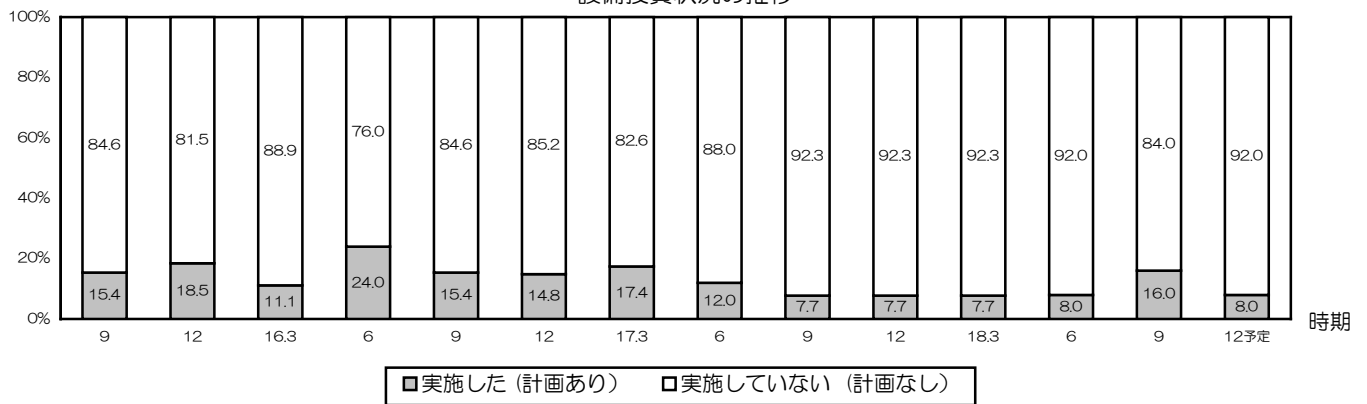
3. 設備投資の状況

今期（2018.7～9）設備投資を実施した企業の割合は16.0%と、前期（2018.4～6：8.0%）との比較で8.0ポイント増加しました。設備投資の内訳は、車輛・運搬具が50.0%、OA機器、倉庫が各々25.0%でした。

来期（2018.10～12）設備投資を計画する企業の割合は8.0%と、今期（2018.7～9）と比較して8.0ポイント減少する見込みです。設備投資の内訳は、車輛・運搬具、OA機器、その他が各々33.3%となっています。



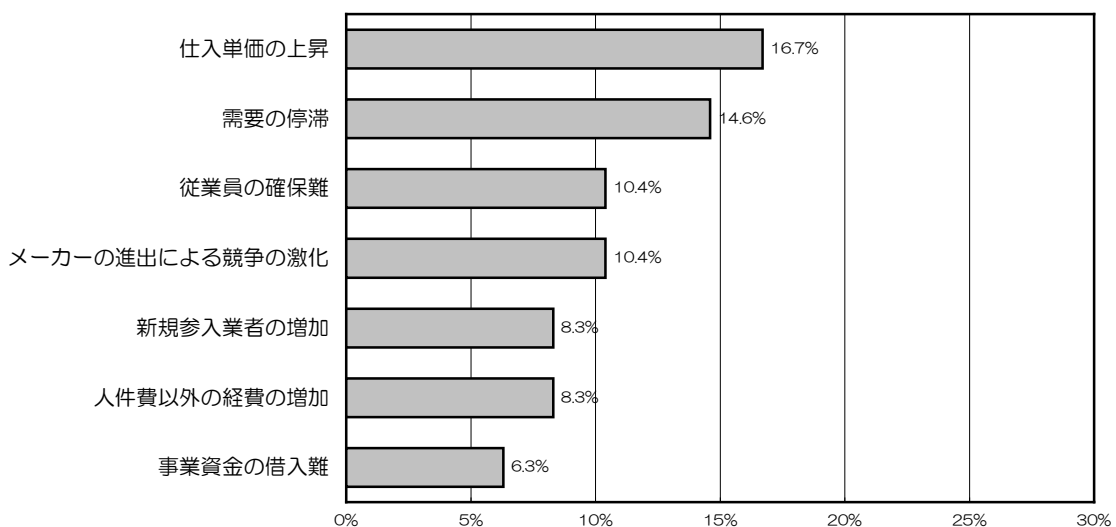
設備投資状況の推移



4. 経営上の問題点

主な経営上の問題点は、第1位が「仕入単価の上昇」で16.7%、第2位が「需要の停滞」で14.6%、第3位が「従業員の確保難」「メーカーの進出による競争の激化」で各々10.4%、第4位が「新規参入業者の増加」「人件費以外の経費の増加」で各々8.3%、第5位が「事業資金の借入難」で6.3%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



小売業

2018.7~9 月期 (回答 90 社・・・回答率 96.7%)

1. 業況

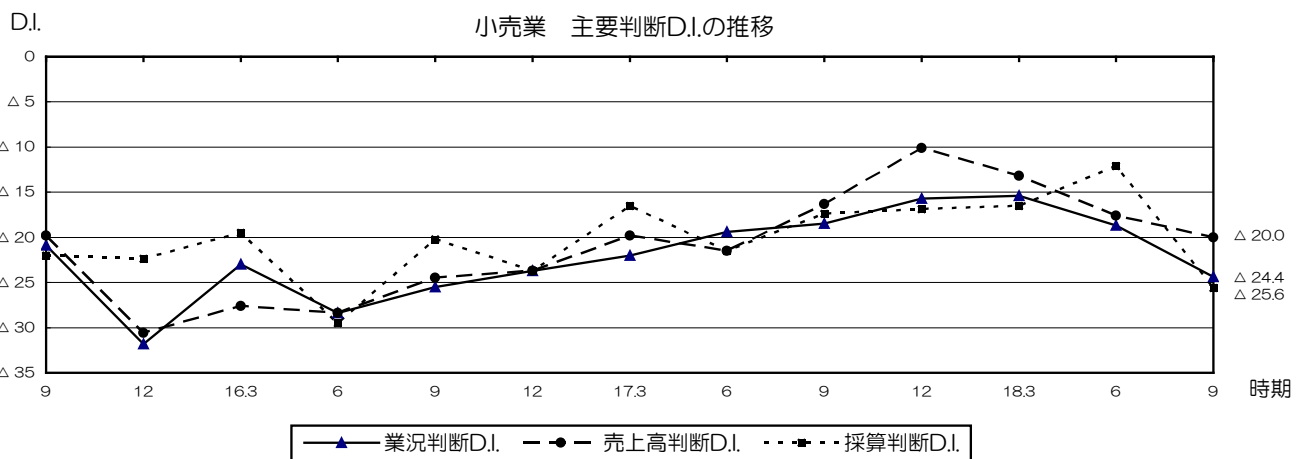
(対前年同期比判断D.I.)

今期(2018.7~9)の業況判断D.I.は $\Delta 24.4$ と、前期(2018.4~6)との比較で5.7ポイント悪化したほか、仕入単価、従業員増減を除く項目でも前期を下回っています。

全国調査との比較では、業況判断D.I.で全国調査の $\Delta 31.4$ を7.0ポイント上回っているほか、仕入単価以外の項目で全国調査の判断D.I.を上回る結果となりました。

来期(2018.10~12)の業況判断D.I.は $\Delta 20.0$ と、今期(2018.7~9)との比較で4.4ポイント改善を予想しているほか、仕入単価、在庫数量以外の項目でも今期を上回ると予想しています。

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	$\Delta 18.7$	$\Delta 24.4$	$\Delta 20.0$	$\Delta 31.4$
売 上 高	$\Delta 17.6$	$\Delta 20.0$	$\Delta 16.7$	$\Delta 30.8$
資 金 繰 り	$\Delta 9.9$	$\Delta 14.4$	$\Delta 11.1$	$\Delta 21.9$
採 算	$\Delta 12.1$	$\Delta 25.6$	$\Delta 22.2$	$\Delta 31.2$
売上単価	$\Delta 7.7$	$\Delta 13.3$	$\Delta 8.9$	$\Delta 22.2$
仕入単価	23.1	23.3	16.7	23.7
在庫数量	$\Delta 2.2$	$\Delta 4.4$	$\Delta 5.6$	$\Delta 19.9$
従業員増減	$\Delta 1.1$	2.2	3.4	$\Delta 6.3$



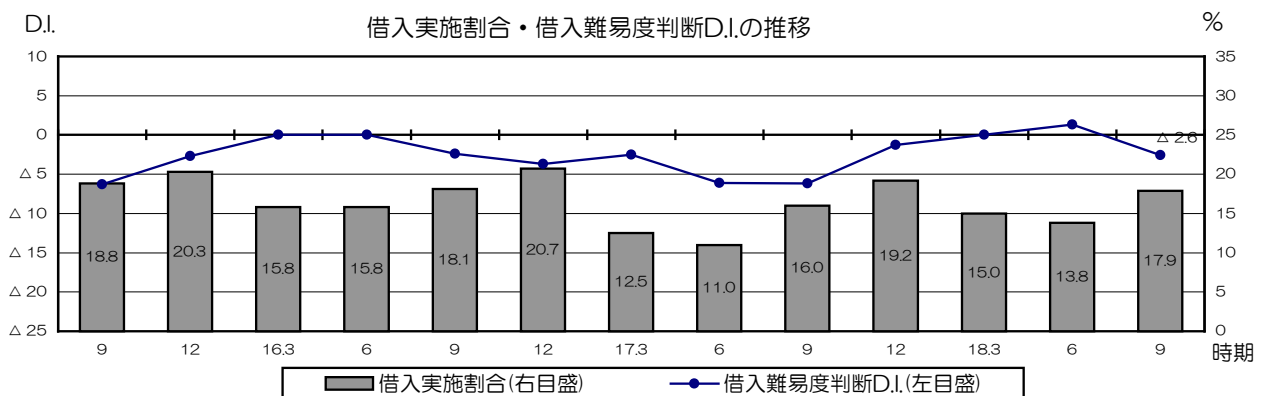
2. 借入金の状況

今期(2018.7~9)借入を実施した企業の割合は17.9%と、前期(2018.4~6)と比較して4.1ポイント増加しました。

来期(2018.10~12)借入を予定する企業の割合は、今期と変わらない見込みです。

借入難易度判断D.I.は今期(2018.7~9) $\Delta 2.6$ と、前期(2018.4~6)との比較では3.9ポイント悪化しています。

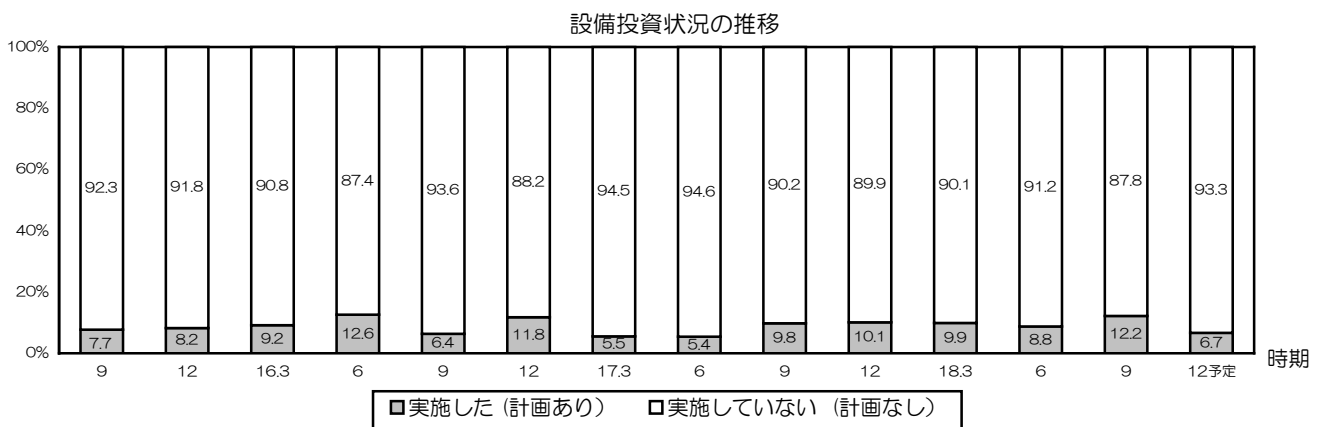
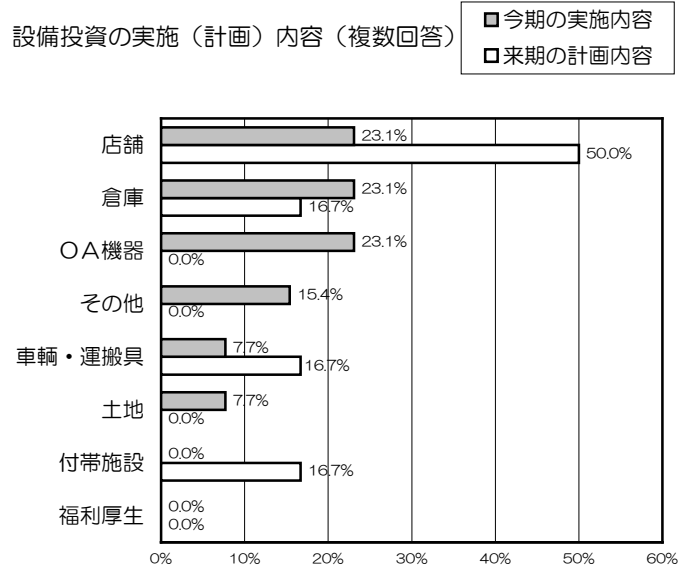
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	13.8%	17.9%	17.9%
借入難易度判断D.I.	1.3	$\Delta 2.6$	



3. 設備投資の状況

今期（2018.7～9）設備投資を実施した企業の割合は12.2%と、前期（2018.4～6:8.8%）との比較で3.4ポイント増加しました。設備投資の内訳は、店舗、倉庫、OA機器が各々23.1%、その他が15.4%、車輛・運搬具、土地が各々7.7%でした。

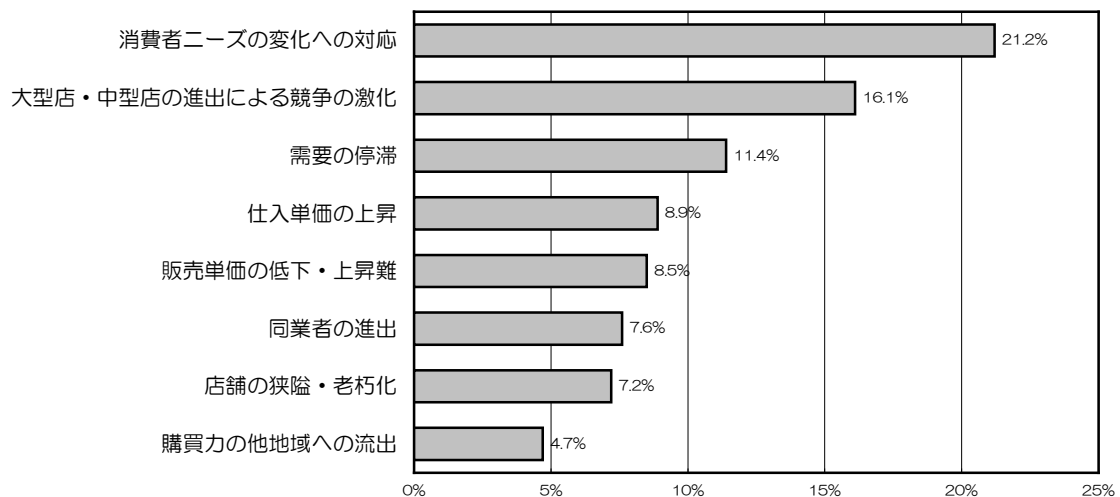
来期（2018.10～12）設備投資を計画する企業の割合は6.7%と、今期（2018.7～9）と比較して5.5ポイント減少する見込みです。設備投資の内訳は、店舗が50.0%、倉庫、車輛・運搬具、付帯施設が各々16.7%となっています。



4. 経営上の問題点

経営上の問題点は、第1位が「消費者ニーズの変化への対応」で21.2%、第2位が「大型店・中型店の進出による競争の激化」で16.1%、第3位が「需要の停滞」で11.4%、第4位が「仕入単価の上昇」で8.9%、第5位が「販売単価の低下・上昇難」で8.5%、第6位が「同業者の進出」で7.6%、第7位が「店舗の狭隘・老朽化」で7.2%、第8位が「購買力の他地域への流出」で4.7%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



1. 業況

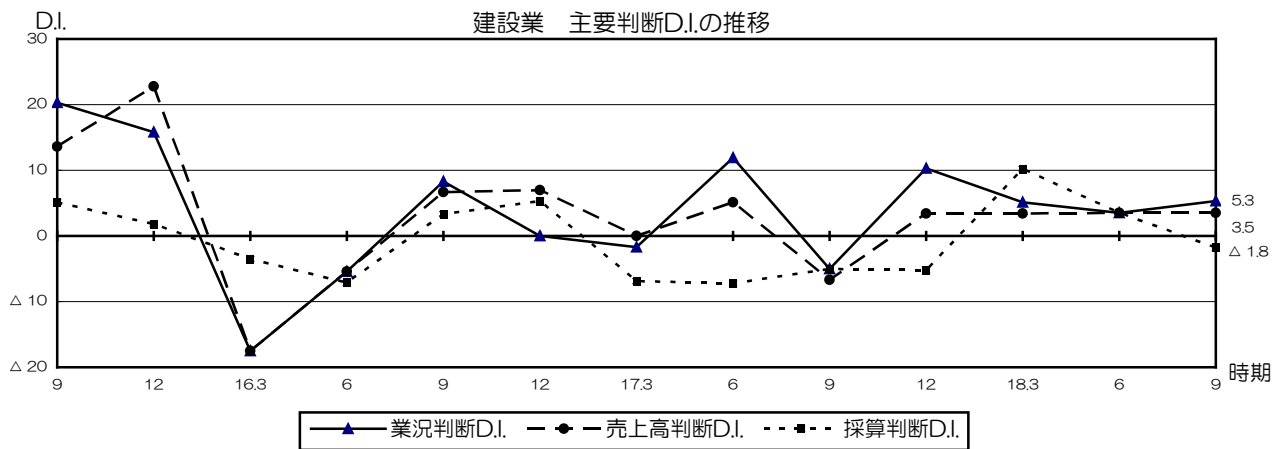
今期 (2018.7~9) の業況判断 D.I. は 5.3 と、前期 (2018.4~6) との比較で 1.8 ポイント改善しているものの、受注額以外の項目では、横這いまたは前期を下回っています。

全国調査との比較では、業況判断 D.I. で全国調査の $\Delta 7.9$ を 13.2 ポイント上回っているほか、材料単価、従業員増減を除く項目で全国調査の判断 D.I. を上回る結果となりました。

来期 (2018.10~12) の業況判断 D.I. は 15.8 と、今期 (2018.7~9) との比較で 10.5 ポイント改善すると予想しているほか、従業員増減以外の項目で今期を上回ると予想しています。

(対前年同期比判断 D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	3. 5	5. 3	15. 8	$\Delta 7. 9$
売 上 高	3. 5	3. 5	12. 3	$\Delta 9. 3$
資 金 繰 り	$\Delta 1. 8$	$\Delta 1. 8$	10. 5	$\Delta 3. 8$
採 算	3. 5	$\Delta 1. 8$	5. 3	$\Delta 15. 1$
受 注 額	3. 5	8. 8	21. 1	$\Delta 7. 9$
材 料 単 価	24. 6	24. 6	28. 1	38. 9
従 業 員 増 減	$\Delta 3. 5$	$\Delta 5. 3$	$\Delta 5. 3$	$\Delta 2. 9$



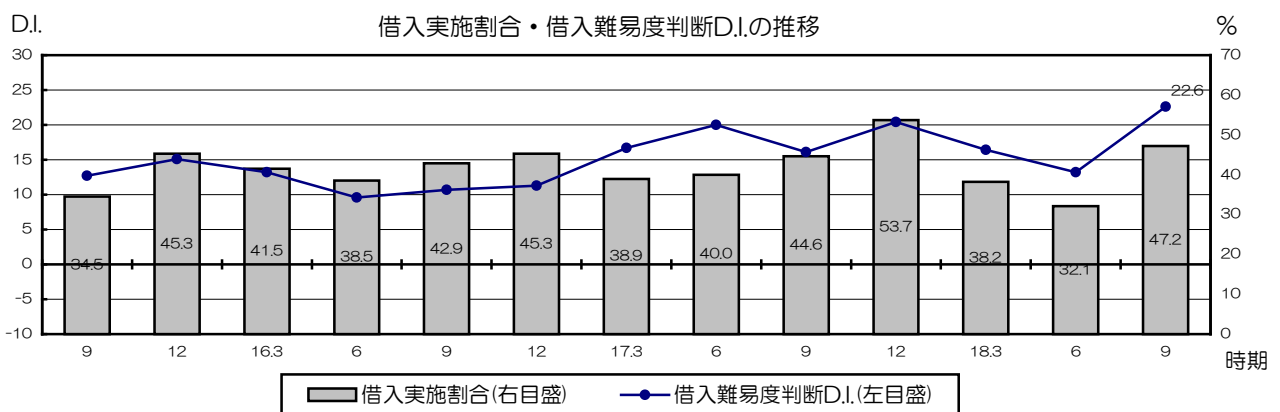
2. 借入金の状況

今期 (2018.7~9) 借入を実施した企業の割合は 47.2%と、前期 (2018.4~6) と比較して 15.1 ポイント増加しました。

来期 (2018.10~12) 借入を予定する企業の割合は 45.3%と、今期 (2018.7~9) と比較して 1.9 ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断 D.I. は今期 (2018.7~9) 22.6 と、前期 (2018.4~6) との比較では 9.4 ポイント改善しています。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	32. 1%	47. 2%	45. 3%
借入難易度判断 D.I.	13. 2	22. 6	

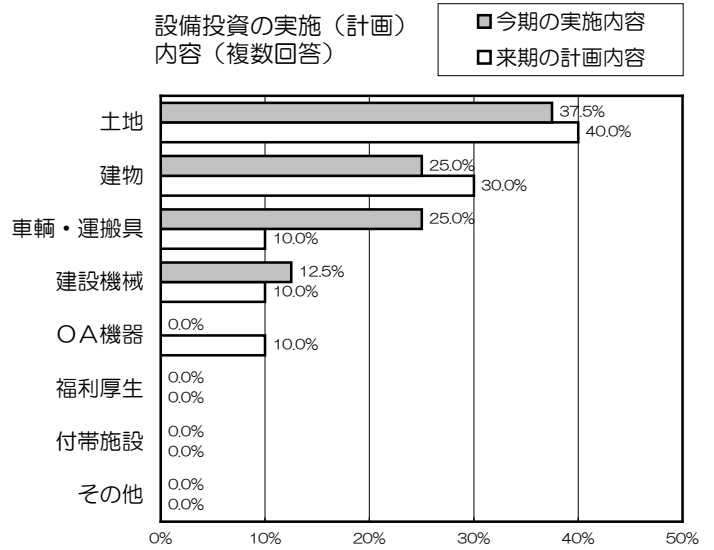


3. 設備投資の状況

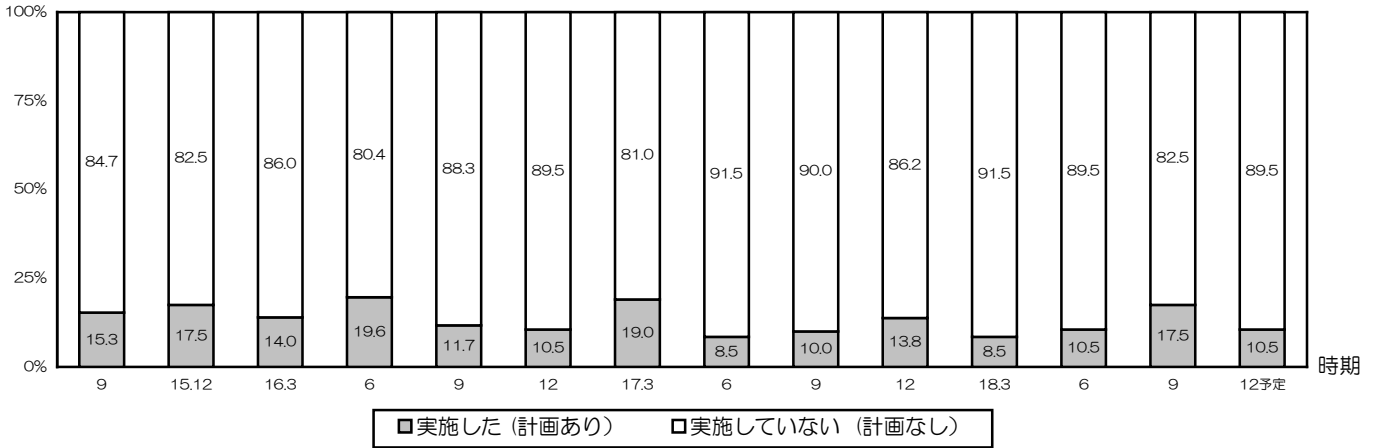
今期（2018.7～9）設備投資を実施した企業の割合は17.5%と、前期（2018.4～6：10.5%）との比較で7.0ポイント増加しました。

設備投資の内訳は、土地が37.5%、建物、車輛・運搬具が各々25.0%、建設機械が12.5%でした。

来期（2018.10～12）設備投資を計画する企業の割合は10.5%と、今期（2018.7～9）との比較で7.0ポイント減少する見込みです。設備投資の内訳は、土地が40.0%、建物が30.0%、車輛・運搬具、建設機械、OA機器が各々10.0%となっています。



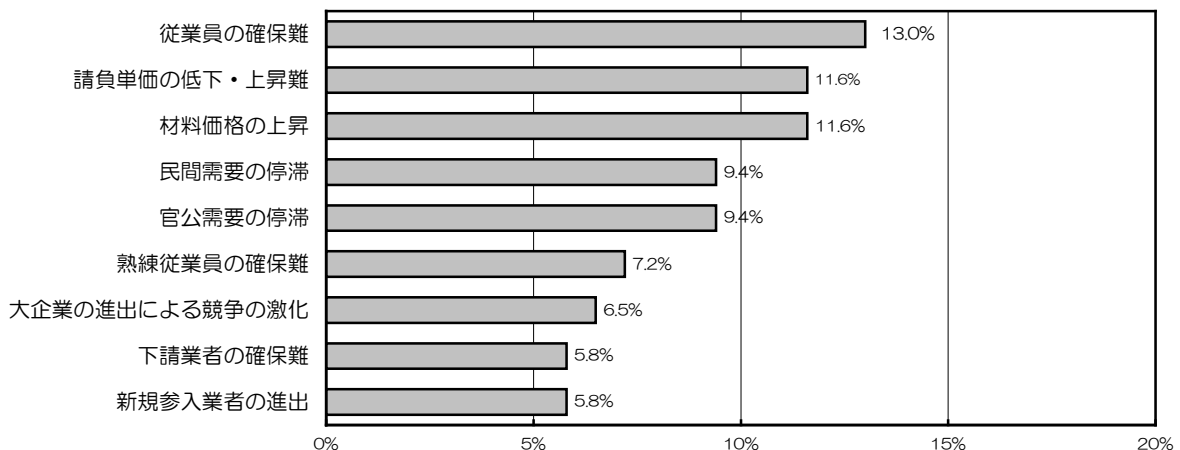
設備投資状況の推移



4. 経営上の問題点

経営上の問題点は、第1位が「従業員の確保難」で13.0%、第2位が「請負単価の低下・上昇難」「材料価格の上昇」で各々11.6%、第3位が「民間需要の停滞」「官公需要の停滞」で各々9.4%、第4位が「熟練従業員の確保難」で7.2%、第5位が「大企業の進出による競争の激化」で6.5%、第6位が「下請業者の確保難」「新規参入業者の進出」で各々5.8%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



1. 業況

(対前年同期比判断D.I.)

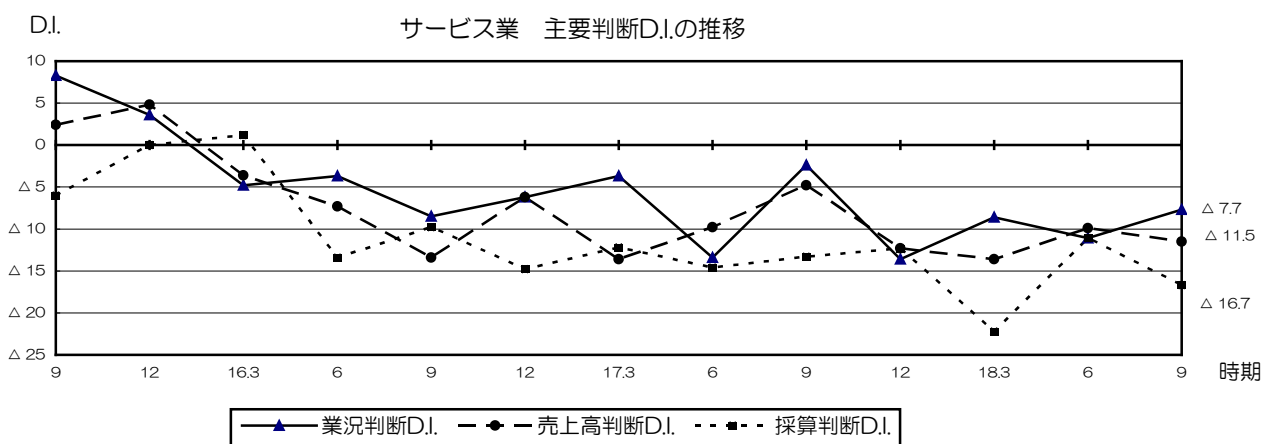
今期 (2018.7~9) の業況判断 D.I.は $\Delta 7.7$ と、前期 (2018.4~6) との比較で 3.4 ポイント改善しているものの、その他の全ての項目で前期を下回っています。

全国調査との比較では、業況判断 D.I.で全国調査の $\Delta 17.7$ を 10.0 ポイント上回っているほか、客単価、仕入単価以外の項目で全国調査の判断 D.I.を上回っています。

来期 (2018.10~12) の業況判断 D.I.は $\Delta 7.7$

と、今期 (2018.7~9) と変わらないと予想しているものの、客単価、仕入単価以外の項目で今期を上回ると予想しています。

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	$\Delta 11.1$	$\Delta 7.7$	$\Delta 7.7$	$\Delta 17.7$
売 上 高	$\Delta 9.9$	$\Delta 11.5$	$\Delta 9.0$	$\Delta 16.6$
資 金 繰 り	$\Delta 4.9$	$\Delta 6.4$	$\Delta 3.8$	$\Delta 12.1$
採 算	$\Delta 11.1$	$\Delta 16.7$	$\Delta 15.4$	$\Delta 20.9$
客 単 価	$\Delta 7.4$	$\Delta 10.3$	$\Delta 11.5$	$\Delta 7.0$
仕 入 単 価	21.3	15.4	$\Delta 15.4$	33.7
従業員増減	1.3	$\Delta 2.6$	$\Delta 1.3$	$\Delta 5.3$



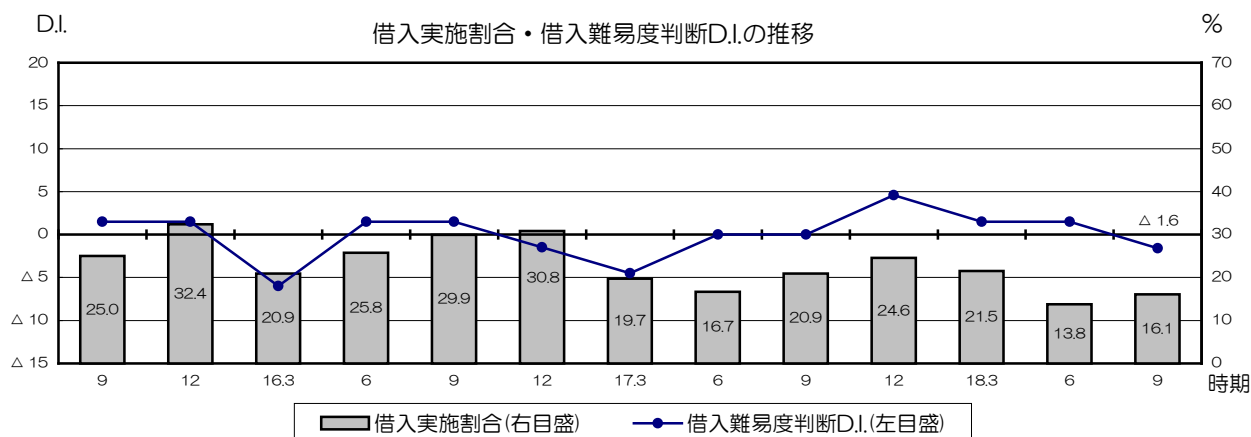
2. 借入金の状況

今期 (2018.7~9) 借入を実施した企業の割合は 16.1%と、前期 (2018.4~6) の 13.8%と比較して 2.3 ポイント増加しました。

来期 (2018.10~12) 借入を予定する企業の割合は 16.1%と、今期 (2018.7~9) と変わらない見込みです。

借入難易度判断 D.I.は今期 (2018.7~9) $\Delta 1.6$ と、前期 (2018.4~6) との比較では 3.1 ポイント悪化しています。

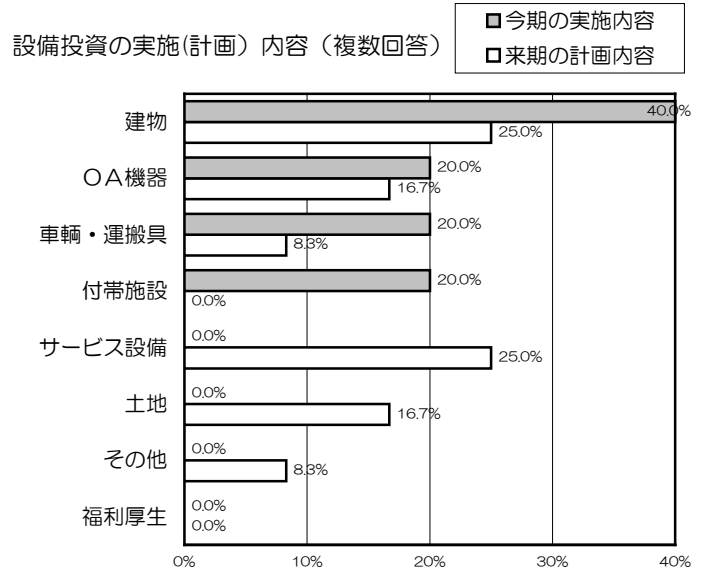
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	13.8%	16.1%	16.1%
借入難易度判断 D.I.	1.5	$\Delta 1.6$	



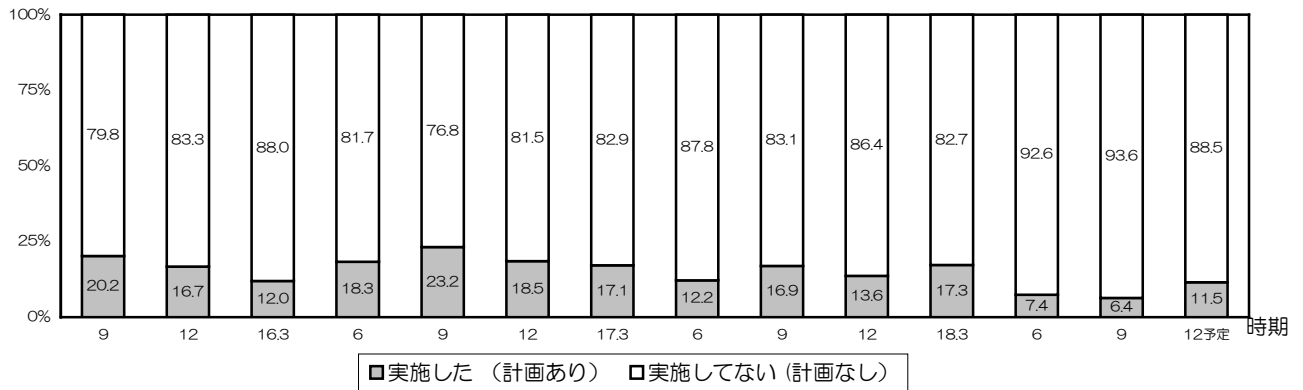
3. 設備投資の状況

今期（2018.7～9）設備投資を実施した企業の割合は6.4%と、前期（2018.4～6：7.4%）との比較で1.0ポイント減少しました。設備投資の内訳は、建物が40.0%、OA機器、車輛・運搬具、付帯施設が各々20.0%でした。

来期（2018.10～12）設備投資を計画する企業の割合は11.5%と、今期（2018.7～9）と比較して5.1ポイント増加の見込みです。設備投資の内訳は、建物、サービス設備が各々25.0%、OA機器、土地が各々16.7%、車輛・運搬具、その他が各々8.3%となっています。



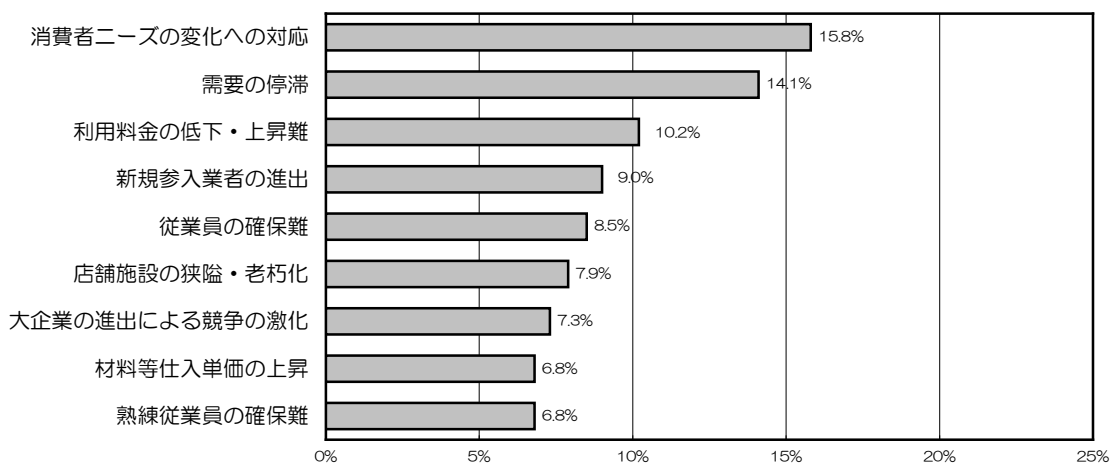
設備投資状況の推移



4. 経営上の問題点

主な経営上の問題点は、第1位が「消費者ニーズの変化への対応」で15.8%、第2位が「需要の停滞」で14.1%、第3位が「利用料金の低下・上昇難」で10.2%、第4位が「新規参入業者の進出」で9.0%、第5位が「従業員の確保難」で8.5%、第6位が「店舗施設の狭隘・老朽化」で7.9%、第7位が「大企業の進出による競争の激化」で7.3%、第8位が「材料等仕入単価の上昇」「熟練従業員の確保難」で各々6.8%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点(複数回答)

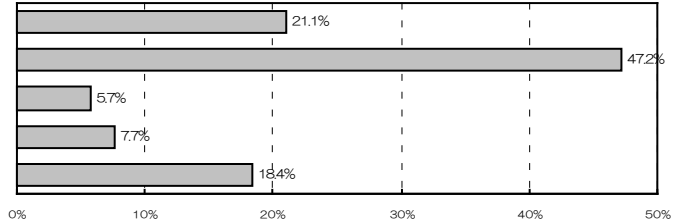


中小企業経営者と「人生100年時代」

問1 社長（代表者）は、今後の10年先の自社の経営について、どのように展望していらっしゃいますか。1～5の中からお答えください。併せて、現在の社長（代表者）の年齢階層を下記の6～10の中から1つ選んでお答えください。

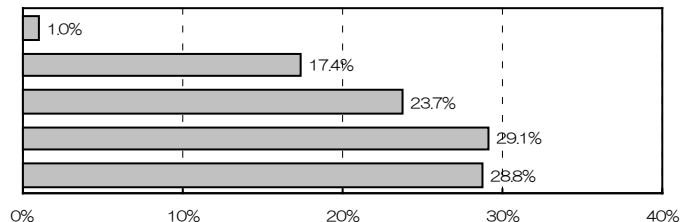
1. 事業拡大
2. 現状維持・横ばい
3. 事業縮小
4. 廃業・事業譲渡予定
5. わからない

<10年先の自社の経営展望>



6. 20歳代、30歳代
7. 40歳代
8. 50歳代
9. 60歳代
10. 70歳代

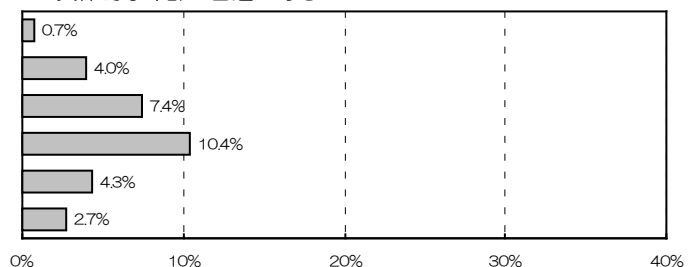
<社長（代表者）の年齢階層>



問2 「人生100年時代」という言葉が生まれるなど、健康寿命の長期化に社会的関心が高まる中で、今後、経営者が現役で活躍する年齢は高まっていくものと考えられます。そのような中、社長（代表者）は、経営者としていつ頃まで現役を続けたいとお考えですか。具体的な年齢の目途がある方は1～6の中から、そうでない方は7～10の中から最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

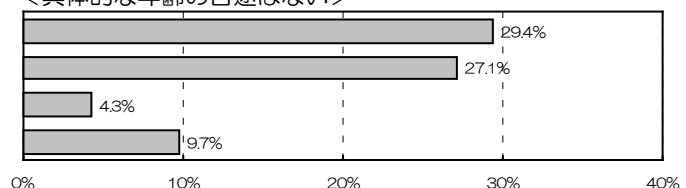
1. 60歳未満
2. 60～64歳
3. 65～69歳
4. 70～74歳
5. 75～79歳
6. 80歳以上

<具体的な年齢の目途がある>

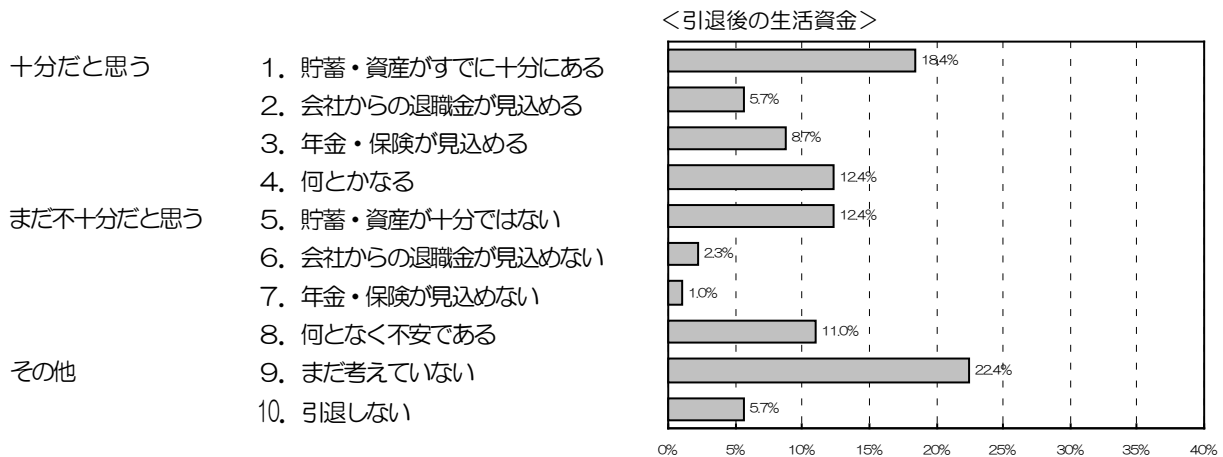


7. 健康が続く限り生涯現役
8. 後継者に托せるようになるまで現役
9. 生活資金の見通しがつくまで現役
10. まったく考えていない

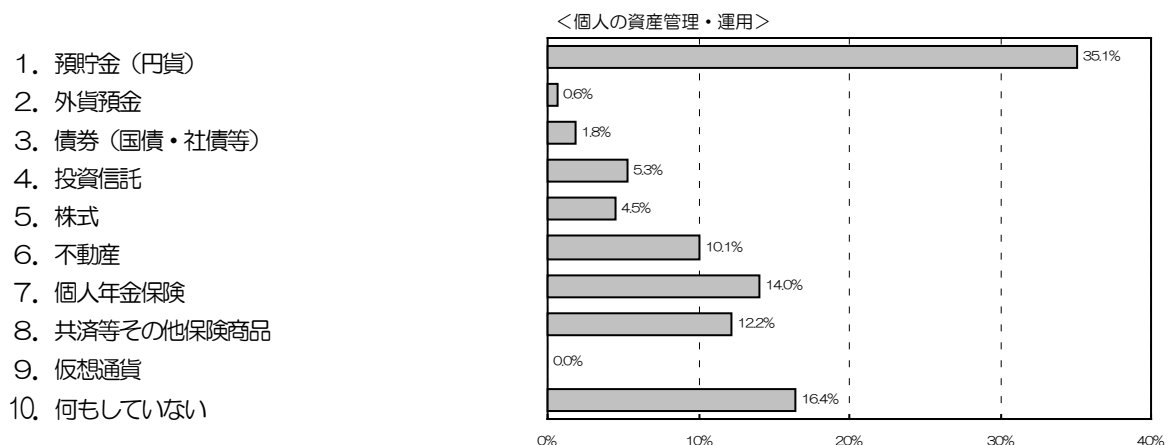
<具体的な年齢の目途はない>



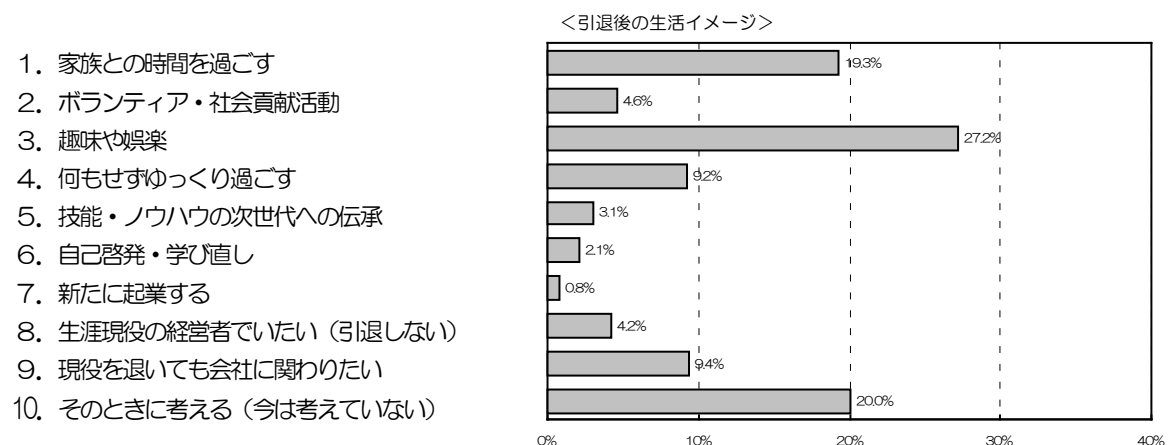
問3 社長（代表者）は、経営者を引退した後の生活資金についてどのようにお考えですか。最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。



問4 「人生100年時代」を見据えて、社長（代表者）は、個人としてどのような資産管理・運用をしていらっしゃるでしょうか。下記の1～10の中から主なものについて3つ以内で選んでお答えください。



問5 「人生100年時代」を見据えて、社長（代表者）は、現役を退いた後の生活イメージについて、描いているものはありますか。下記の1～10の中から3つ以内で選んでお答えください。



集計結果 (2018. 7~9月期)

(単位：%)

		今期の状況								来期見通し			
		対前年同期比				対前期比				対前年同期比			
		良い	不変	悪い	D.I.	良い	不変	悪い	D.I.	良い	不変	悪い	D.I.
全業種	業況	11.2	67.1	21.6	△ 10.4	9.6	73.6	16.9	△ 7.3	11.2	71.3	17.4	△ 6.2
	売上	14.0	61.8	24.2	△ 10.1	14.9	65.7	19.4	△ 4.5	13.8	66.0	20.2	△ 6.5
	資金繰り	4.5	84.0	11.5	△ 7.0	3.7	86.2	10.1	△ 6.5	6.2	83.8	10.1	△ 3.9
	採算	5.1	75.3	19.7	△ 14.6					5.6	78.1	16.3	△ 10.7
	従業員増減	7.1	84.7	8.2	△ 1.1					5.9	90.1	4.0	2.0
	借入難易度					11.8	78.4	9.8	2.0				
製造業	業況	13.2	65.1	21.7	△ 8.5	12.3	70.8	17.0	△ 4.7	13.2	71.7	15.1	△ 1.9
	売上	15.1	62.3	22.6	△ 7.5	15.1	67.0	17.9	△ 2.8	13.2	67.9	18.9	△ 5.7
	資金繰り	5.7	84.0	10.4	△ 4.7	2.8	87.7	9.4	△ 6.6	4.7	84.9	10.4	△ 5.7
	採算	4.7	77.4	17.9	△ 13.2					5.7	83.0	11.3	△ 5.7
	原材料単価	24.5	74.5	0.9	23.6					17.9	81.1	0.9	17.0
	原材料在庫	3.8	89.6	6.6	△ 2.8					1.9	94.3	3.8	△ 1.9
	従業員増減	10.4	84.0	5.7	4.7					9.4	88.7	1.9	7.5
	設備操業率	6.6	78.3	15.1	△ 8.5					4.7	84.9	10.4	△ 5.7
	借入難易度					9.8	78.3	12.0	△ 2.2				
卸売業	業況	8.0	72.0	20.0	△ 12.0	12.0	68.0	20.0	△ 8.0	4.0	72.0	24.0	△ 20.0
	売上	8.0	72.0	20.0	△ 12.0	16.0	60.0	24.0	△ 8.0	8.0	76.0	16.0	△ 8.0
	資金繰り	8.0	80.0	12.0	△ 4.0	8.0	80.0	12.0	△ 4.0	7.7	80.8	11.5	△ 3.8
	採算	8.0	80.0	12.0	△ 4.0					0.0	88.0	12.0	△ 12.0
	売上単価	16.0	84.0	0.0	16.0					12.0	84.0	4.0	8.0
	仕入単価	20.0	80.0	0.0	20.0					16.0	84.0	0.0	16.0
	在庫数量	4.0	92.0	4.0	0.0					0.0	96.0	4.0	△ 4.0
	従業員増減	0.0	100.0	0.0	0.0					0.0	100.0	0.0	0.0
	借入難易度					0.0	95.0	5.0	△ 5.0				
小売業	業況	5.6	64.4	30.0	△ 24.4	5.6	72.2	22.2	△ 16.7	4.4	71.1	24.4	△ 20.0
	売上	12.2	55.6	32.2	△ 20.0	13.3	61.1	25.6	△ 12.2	11.1	61.1	27.8	△ 16.7
	資金繰り	1.1	83.3	15.6	△ 14.4	1.1	84.4	14.4	△ 13.3	3.3	82.2	14.4	△ 11.1
	採算	2.2	70.0	27.8	△ 25.6					3.3	71.1	25.6	△ 22.2
	売上単価	7.8	71.1	21.1	△ 13.3					7.8	75.6	16.7	△ 8.9
	仕入単価	26.7	70.0	3.3	23.3					21.1	74.4	4.4	16.7
	在庫数量	5.6	84.4	10.0	△ 4.4					4.4	85.6	10.0	△ 5.6
	従業員増減	5.6	91.0	3.4	2.2					5.6	92.1	2.2	3.4
	借入難易度					11.5	74.4	14.1	△ 2.6				
建設業	業況	19.3	66.7	14.0	5.3	19.3	75.4	5.3	14.0	22.8	70.2	7.0	15.8
	売上	22.8	57.9	19.3	3.5	24.6	66.7	8.8	15.8	24.6	63.2	12.3	12.3
	資金繰り	5.3	87.7	7.0	△ 1.8	5.3	91.2	3.5	1.8	12.3	86.0	1.8	10.5
	採算	8.8	80.7	10.5	△ 1.8					12.3	80.7	7.0	5.3
	受注額	21.1	66.7	12.3	8.8					26.3	68.4	5.3	21.1
	材料単価	26.3	71.9	1.8	24.6					28.1	71.9	0.0	28.1
	従業員増減	7.0	80.7	12.3	△ 5.3					5.3	84.2	10.5	△ 5.3
	借入難易度					24.5	73.6	1.9	22.6				
サービス業	業況	10.3	71.8	17.9	△ 7.7	2.6	79.5	17.9	△ 15.4	10.3	71.8	17.9	△ 7.7
	売上	10.3	67.9	21.8	△ 11.5	9.0	70.5	20.5	△ 11.5	11.5	67.9	20.5	△ 9.0
	資金繰り	5.1	83.3	11.5	△ 6.4	5.1	84.6	10.3	△ 5.1	6.4	83.3	10.3	△ 3.8
	採算	5.1	73.1	21.8	△ 16.7					5.1	74.4	20.5	△ 15.4
	客単価	5.1	79.5	15.4	△ 10.3					5.1	78.2	16.7	△ 11.5
	仕入単価	17.9	79.5	2.6	15.4					17.9	79.5	2.6	15.4
	従業員増減	6.6	84.2	9.2	△ 2.6					3.9	90.8	5.3	△ 1.3
	借入難易度					8.1	82.3	9.7	△ 1.6				

伊勢崎佐波地区 景気動向調査 No.62

発行 伊勢崎商工会議所 経営支援課

群馬県伊勢崎市昭和町3919

TEL0270-24-2211

<http://www.isesaki-ccior.jp>

アイオー信用金庫 経営企画部

群馬県伊勢崎市中央町20番17号

TEL0270-30-5001

<http://www.io-web.jp>

このレポートは、調査時点における当金庫及び当商工会議所の見解をまとめたもので、情報提供を目的としております。また、当金庫及び当商工会議所が信頼できると判断した情報やデータに基づいてこの資料は作成しておりますが、この情報の正確性・安全性等について当金庫及び当商工会議所が保証するものではありません。

このレポートの活用に関しては何の制限もございませんが、施策の決定や実行などの最終決定は、ご自身の判断でなされますようお願いいたします。